

日本史類名索引

五山



名称索引

特58
122

大皇國の史よゆん

とてけり先を

とてけり國史略

皇朝史略のてり

そんてりてり

あつてりてり

西史略のてり

旁訓のてり

古くてりてり

てりてりてり

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

Concordia

ふうせきまの日本紀
 古事記のふんごん
 うつろひの出来ぬ
 はは母のふんごん
 そのあつち史学の為
 益かたのふんごん
 をやまゑとふけ
 ちのふんごん
 紀のふんごん
 中村法矩
 といふ

日本書紀

日本書紀類名稱訓

日本書紀

○日本書紀のふんごん

めくあつち御典なまを

天神地祇また上古

天皇等れ御名及び

皇子后妃諸臣の名稱

地名など後の文字

つろひの異なれハ

訓注ふくても讀得

いふふんごんのふんごん

小苦しとてそのま
さしねくをくも
ありとて今ハ其幼
稚さ人々此為小
神武天皇より
持統天皇の御巻を
讀難しもの紙抄出
して旁訓を施たり
史を讀人この冊子
を傍よみは探索
此勞と省くへ

○旁訓ハ日本紀の
今本に假名よると
りくとて釈紀より
次の注釈ともふ
參攷しきり姓氏録
和名抄等をも見合
せて訂したまハ大
くハ訛謬ありめま
となは正しあふぬ
そのもありをんハ
いふはせん

○この冊子の史の
巻次第を逐て標
をたてた事を

神武天皇の御巻小

出たる名稱はそれ

その標の中よりあり

但一たび出きしは

再出さばそなたと

つゝ

天武天皇の御巻に

よみ難しものありて

その標の中を索ぬ

るよ無きを以前小

立しりて

天智天皇

天皇大友に御巻此

標中小索ぬるに

如し

○史ハ全く漢文ナ

まじとも青雲白肩津

栲衾新羅國などや

うに原文小引きて

發語マシラフコトをより何れぬま

た古言のまじりまじり

潤色を加へたるもの

を折あり是等名

稱スと多少ス異を

まじり漢文よみよみ

よむつらぬる抄

出して旁訓を加へ

つ

○カラクニ韓國人の名およ

ひ地名官号紀小訓

あつこのれを注し

よ訓無れとも音

讀たる事いちし

よハ音讀と注に彼

邦音をいしそハよ

難イロクシクハ味詳スと注シ其

紀の訓ふをいし

にの古と稱呼の殘

れろくまじりたる

まじりの國書をも考

つあまじりたる事

れとそこさひハ暇
なくてえものせ
諸蕃國のもまこ然
り
○史ハ氏ハ加婆
禰を皆省ちて記さ
社にさるは稱呼の
長きハ文章のうく
美しうらふとやう
の事うて省う終々
るにや然ましても加

婆祢を種族を令ち
貴賤の品を知りき
そのまてこまなく
てハ古代の氏く此
天朝小仕へ奉まら
さすま委細くハ知の
こかろくハ譬ハ書
首書直ハその族も
とら異なると首
直の加婆祢を去て
單小書氏と稱まら

時々同姓と云こえ

まこと壹岐直ハ神孫

壹岐史ハ蕃種なるを

加婆祢ふとてハ如

何別とんその他中

臣連齋部首の如こ

中臣齋部ハ執掌の

職号の姓となれる

よて神小奉仕はる

徒小廣くつり連

首を群下を率めて

その主宰たす稱て

是則加婆祢なるは

省さけりてうりら

めや又蘇我氏を臣

の加婆祢なり故

ふその姓の人ハ大

臣とて物部氏を

連此加婆祢なり

故よその姓の人を

大連となれるよて

大臣大連ハ後の氏

上よりいとしきもの
 なる事も加婆祢小
 うらては辨へうと
 くやあらんまゝ海
 部直上毛野君出雲
 臣等との如き直君
 臣等の加婆祢を去
 ていたく小漁をす
 るも此上野出雲ふ
 との國人のやうふ
 聞えそまゝらばし

されとそまゝ列傳
 まてよく見そく
 て事此やうをよく
 考人々をまゝふも
 一無うめを初學
 の為ふそなは省の
 ころうらうら
 く思もこれはこの
 冊子よき紀より
 て其姓の下小加婆
 祢を加へ川譬ハ境部

雄麻呂

紀境部臣中臣鎌足

紀中臣連といたせる類を

り

○天武天皇の十三

年に諸氏の加婆祢

を八色小定めし

ひて後ハ上古のれ

もむと變れし事

多し古語拾遺小至

于淨御原朝廷改天

下之万姓而今為八

等唯序當年之勞不

モトガ本天降之績云々と

しるこの事なり當

年之勞とは近江朝

廷と戦ひたし

壬申の年ふて吉野

此御方小参れる人

の勞をふくさめは

せきよくも也諸氏

の加婆祢前後同し

うらさるる此故を

ハ
り見む人よくこの
旨を心得てよ

○この冊子

持統天皇小止りて
文武天皇より以下ハ
抄せられたるハ續紀以
下は傍訓ふくろ
証をくまきものも無
れハ也天皇ハ御名^{ミナ}
謚^{ミナ}ハ此後もな
いもーくさまねる

多うれと前の例ふ
より類をうつ称て

大くくま讀得^クハ

奈良朝より以下ハ
の名二字小定より
て後れハ中より

よも難^ナさとの所達

と拾芥抄まハ黒河

氏の名字指南なと

よよりてこれも大

くくまよまねる

但地名と諸物品の
 名称と小ハヤとや
 多クならぬものあり
 和名抄また萬葉集
 なとよみて讀えらる
 も何事とそれ小漏
 たるものはましく
 便なるのめをこの
 後編ふものきん乃
 ても暫く博覧の久
 ぶらきてたつひよ

むくー

○天皇の文字古風

此御名御謚ミナミヤクシの下に

片々ハ皆スメラミコ

トとよむくー王字

ミコと讀へる處あり

オホキミとよむへき

所あり此差別今も

古事記傳の説少し

りて其ところくよ

訓を分てり

○孝徳天皇以前の
冠位の号ふハ訓まよ
こかこよもの多し
其後八省百官の号
ハ古訓を知らんや
おもふ人多し北山抄和
名抄等ふつてさて尋
ぬし史をよまん
まよしも用ふ多し
今ハ皆もらう
文久壬戌夏

香取 伊能穎則

日本史類名稱訓

本紀

神武天皇

○彥火火出見 注○霧御毛浴

○狹野 注○大日

靈尊 ○正哉吾勝々

速日天忍穗耳尊 ○

高皇產靈尊 ○栲幡

千千姫 ○天津彦々

火瓊々杵尊 ○八坂

瓊曲玉ニノカタマ○八咫鏡ヤタノカミ○

草薙劍クサキリ○豐葦原瑞トヨアシハラノミツ

穗國ホノクニ○天磐坐アマノイハクラ○高タカ

千穗峯チホノミネ○吾田ワタ○大オホ

山祇ヤマミ○木華開コハナク邪姬ヤミメ

○彦火ヒコホ火出ホ見尊ミミコト○

海神ウミツミ○豐玉トヨタマ彦ヒコ○豐トヨ

玉姬タマヒメ○彦波瀲ヒコナギ武鸕ウツ

鸕草カヤネ菅スズ不合アヘ尊ミコト○天アマ

津日高ツヒタカ○日嗣ヒツギ○玉タマ

依姬ヨリヒメ○吾平ワヒラ津媛ツヒメ○

長髓彦チカスネヒコ○饒速日命ニギハヤヒノミコト

○兄猾エウヤシ○弟猾オトウケシ○八ヤ

十鳥師ツタケ○兄磯城エ

磯城イソキ○鹽土老翁シホツツノオヤジ○

五瀬命イツセノミコト○天磐船アマノイハフネ○

稻飯命イナヘノミコト○三毛入野ミケイリノ

命ミコト○手研耳命タキシミノミコト○速ハヤ

吸門スヒメ○珍彦ウツヒコ○椎根シヒネ

津彦ツヒコ○菟狹ウササ○菟狹ウササ

津彦ツヒコ○菟狹津媛ウササツヒメ○

天種子命アマノタネノミコト○崗水門オカノミナト

○埃宮エミヤ○吉備國キヒノクニ○

高嶋宮タカシマノミヤ○浪速國ナニハシノクニ○注

河内カハチ○阿岐國○多

草香邑クサカノムラ○青雲白肩アヲクモシラカタ

津ツ書靈二字發書靈二字發○龍田タツタ○語不地名也

膽駒山イノロヤマ○孔舍衛坂クニサエサカ

○盾津タテツ○茅渟山城チヌノヤマキ

水門ミナト○寵山カマヤマ○名草ナクサ

邑ムラ○名草戸畔ナクサトビ○熊クマ

野神邑ノノサミノムラ○荒坂津アラサカノ○注

丹敷ニ○丹敷戸畔ニキトビ○高タカ

倉下クラジ○節靈劍フツミツツルギ○頭ヤ

八咫鳥ヤカラス○道臣命ミチノヨロシノミコト○

大来目オホクメ○菟田下縣ウタノシタアガタ

○吉野ヨシノ○井光イヒカ○高タカ

倉山クラヤマ○國見岳クニミツノヤマ○女メ

坂サカ○男坂オノサカ○墨坂スミサカ○

磐余邑イハレノムラ○天香山アマノカグヤマ○

八十平瓮ヤソノヒラ○天手扶アマノタデ

○巖瓮イソツツ○丹生川上ニフノカハバ

○真坂樹マサカキ○顯齋ウツシイサ○

齋主イハヒメシ○嚴姫イシヒメ○弟磯オトシ

城キ○兄エ倉クラ下ジ○弟オト倉クラ

下ジ○鷄トビ○層フ富フ縣カタ○

土ツチ蜘蛛クモ○新ニ城キ戸ト畔バ

○居コ勢セ祝ハフリ○猪井ノ祝ハフリ○

高タカ尾ヲ張ハリ邑ムラ○葛カツラ城キ○

畝ウネ傍ビヤマ○檀カシ原ハラ○媛ヒメ

踏タ鞞ラ五イ十スミ鈴ヒメ媛メ○神ヒメ

籬ロギ○天アマ富ツカミ命ノ○齋イム部バ

○天アマ神ツカミ壽ノ詞ヨコト○可ウ美マシ

真マ手ノ命ミコト○内ウチ物モノ部ノ○注

倭ヤマト國ノ造クラ○猛タケ田クノ縣アガタ主マシ

○劔ツル根キネ○鳥ト見ミ山ヤマ○

腋ワキ上ガミ嗟シノ間ホ丘ノ○蜻ア蛉キツ

之ノ臀ト帖ナ○秋アキ津ツ洲シマ○

神カン淳ヌナ川カガ耳ミミ尊ミコト○畝ウ傍ネビ

山ヤマ東トウ北キ陵リョウ

綏スエ靖セイ天テン皇ノウ

○神カミ八ヤ井井耳ミミ命ノ○神カミ

淳ヌナ名ナ川カハ耳ミミ天テン皇ノウ

○高タカ丘カノ宮ミヤ○五イ十ス鈴スズ

注注○德トク沼ヌマ

河カハ耳ミミ命ノ

依媛ヨリヒメ○磯城彦玉手シキツヒコタマテ

看尊ミノミコト注注○桃花鳥ツバキ

田丘上陵タノケノウエノミヤキ

安寧天皇

○磯城津彦玉手看シキツヒコタマテ

天皇スメラミコト○片鹽カタシホ○浮孔ウキアナ

宮ミヤ○淳名底仲媛ムナナソコナカノヒメ注

出雲出雲○大日本彦耜友オホヤマトヒコスキトモ

尊ミコト○御陰井上陵ミトノミナノノミヤキ

懿德天皇

○大日本彦耜友天オホヤマトヒコスキトモスミ

皇ミコト○輕曲峽宮カルノカマリノミヤ注

宮ミヤ○天豐津媛アメトヨツヒメ○觀ミ

松彦香殖稻尊マツヒコカヒシネノミコト○織オリ

沙谿上陵サガノミヤノミヤキ

孝昭天皇

○觀松彦香殖稻天ミマツヒコカヒシネノミヤ

皇ミコト○掖上ウキカミ○池心宮イケココロノミヤ

○世襲足媛ヨソツクシヒメ○日本ヤマト

足彦國押人尊タラシヒコクニオシヒトミ○掖ヒ
上博多山上陵カミハカタノヤシノウミノミヤキ

孝安天皇

○日本足彦國押人ヤマトタラシヒコクニオシヒトミ

天皇スミラミコト○室ムロ○秋津島アキツシマ

宮ミヤ注ニヤ注○大見命オホミノミコ○押媛オシヒメ
命並別業詳ミコトナリニワケニササヒクニササヒクニ○宿禰スネ

○大日本根子彦太オホヤマトネコヒコ

瓊尊ニギハヤヒノミコト○玉手丘上陵タマテノカミノミヤキ

孝靈天皇

○黑田クロタ○廬戸宮イホトノミヤ○

大日本根子彦太瓊オホヤマトネコヒコ

天皇スミラミコト○細媛ホシメ○彦國ヒコクニ

牽尊クハシノミコト○片丘馬坂陵カタラカノシマザカノミヤキ

孝元天皇

○大日本根子彦國オホヤマトネコヒコクニ

牽天皇クハシノミコト○境原宮サカイハラノミヤ○

鬱色謎ウツシヨミ○稚日本根ワカヤマトネ

子彦大日日尊コヒコオホヒヒノミコト○劔ツルギ

池鳥上陵イシノミヤノウラノミヤキ

開化天皇

○雅日本根子彦大

日日天皇○春日○

率川宮○伊香色謎

○御間城入彦尊○

春日率川坂本陵

崇神天皇

○御間城入彦五十

瓊殖天皇○御間城

姫○瑞籬宮注○起履心

命建美○倭大國魂神○

豐歛入姫○笠縫邑

○淳名城入姫○神

淺茅原○大物主神

○大田田根子○茅

淳縣陶邑注○美○伊

香色雄○長尾市○

墨坂神○大坂神○

大彦命○北陸○武

淳川別○東海○彦

五十狹芹彦命イサセリヒコノミコト○西ニシ

海ウミ○丹波道主命タニハノミチヌシノミコト惠ニ

道ミチ○彦坐王ヒコイマス○武埴安彦タケハニヤスヒコ

○吾田媛アタヒメ○彦國葦ヒコクニブク

○男之弭調女之手ヲトコノニツクミツキメノテ

未調スエラミツキ○御肇國天皇ミツクニシラススメラミコト

○活目尊イタメノミコト○豐城命トヨキノミコト

○出雲振根イツモネ○狹山サヤマ

埴田ハニダ○依網池ヨサライ○新カリ

坂池サカイケ○反折池サカヒクサ○山ヤマ

○任那國ニナノクニ○山ヤマ

邊道上陵ヘニチノノミヤ

垂仁天皇

○御諸山ミモロヤマ○活目入イタメノイリ

彦五十狹茅天皇ヒコイサヒノチガヤノミコト○

狹穗姬ササヒメ○纏向マキムク○珠タマ

城宮キリノミヤ○天日槍アマヒヒコ○來ク

目高宮メノタカミヤ○狹穗彦ササヒメ○

八綱田ヤツナタ○當麻邑タギマノムラ○

蹶速クニハヤ○野見宿禰ノミノスクネ○

日葉酢媛ヒハスヒメ○渟葉田トヨハタ

瓊入媛イリヒメ○真砥野媛マシノヒメ

○筋瓊入媛アササキイリヒメ
筋紀作筋媛 筋筋共前之

誤古事記謂阿邪美 能伊理異賣則是 ○大鹿島オホカシマ

○十千根トチネ
注市根 ○武タケ

日ヒ○倭姬ヤマトヒメ○齋宮イハヒノミヤ

五十鈴川上イソナガハカミ
注磯城巖 檀之下渡邊

密ヒソカニ ○屯倉ツツクラ ○倭彦命ヤマトヒコノミコト

○土像物ハニモノ ○土部職ツツノシヨク

○建真利根命タケマカリノミコト ○石イハ

作大連公ツクリノミコト ○山背ヤマセ

五十瓊敷命イソノシメ ○高石タカシ

池イケ ○迹見池アトミイケ ○大足オホタラシ

彦尊ヒコノミコト ○石上神宮イソノカミノミヤ

河上部カハカミ ○清彦キヨヒコ ○天アメ

日槍ヒコウ ○田道間守タヂマノミ

非時香菓トキジツノカクノコノミ ○常世國トコヨノクニ

○菅原伏見陵スガハラノフシノミヤ

景行天皇

○大足彦忍代オホタラシヒコノオシノロ 別天ワケノスサ

皇ミコト ○播磨稻日ハツマノイナヒ 大郎オホノイダラ

媛メ ○屋主忍男ヤメシノオミヲ 武雄タケヲ

心命ココロノミコト○日代宮ヒヨロミヤ○熊クマ

襲ウツ○周芳スハフ娑磨サハ○武タケ

諸木モロキ○菟名手ウナテ○夏ナツ

花ハナ○神夏カミカ磯媛シノメ○八ヤ

尺瓊サカヒ○八握ヤツカ劍ツルギ○八ヤ

咫鏡タカミ○菟狹ウサ川上カハナヘ○

鼻垂ハナタリ○御木ミキ川上カハナヘ○

耳垂ミミタリ○高羽タカハ川上カハナヘ○

麻剝アサハ○綠野キナンド川上カハナヘ○

土折ツチフリ○猪折イノフリ○長峽ナガセキ

縣ノリ○碩田オホキタ國クニ○速見ハヤミ

邑ノリ○速津ハヤヒ媛メ紀無訓今據
上文之例

○鼠石ネズイシ窟クハ○青アヲ○白シロ

○直入ナホリ縣ノリ○禰ネ疑野ウタガハシ

○打ウチ獲カケ○八田ヤチノ○國クニ

摩侶マロ○來田キタ見邑ミヤ○

海石ウミイシ榴ズ○椎ヅ○稻葉イナバ

川カハ○城原キハラ○柏峽カシハラ大オホ

野ノ○高屋タカヤ宮ミヤ○厚鹿アツカ

文ヤ迹アト鹿カ文ヤ○市イチ乾鹿カラカ

文ヤ訓注ノリ乾カラ○市イチ鹿谷カヤ○

子湯コユ縣ノリ○丹裳ニモリ小野コノ

○夷守ニモリ○諸縣君モリノキミ○

泉媛イハヒメ○熊縣クマノカミ○熊津クマノツ

彦ヒコ○葦北小島アシキタノシマ○小コ

左サ○冰島ヒヤシマ○火國ヒノクニ○

玉杵名邑タマキナノチ○津類ツルイ○

阿蘇國アソノクニ○御本國ミモトノクニ○

高田行宮タカタノカミヤ○八女縣ヤツメノシマ

浮羽邑ウキハノチ○五百野皇イホノノミ

女メ○武内宿禰タケウチノスネ世謂多計能字

遷者非也武内訓多計志美称内
且訓宇遷地名大和國有智是也
則此宿禰与兄甘美内
宿禰所居住之地也 ○日ヒ

木武尊キタケノミコ○川上島師カハカミノシ

○吉備武彦キヒノタケヒコ○大伴オホトモ

武日タケヒ紀作武○大碓命オホウヅノミコ

○能褒野ノホノ○武部タケウベ○

稚足彦尊ワカタラシヒコノミコ○八坂入ヤツカノイリ

媛ヒメ○淡水門フタツミ○綺宮カハタノミヤ

通證云疑是飯 ○彦狹島ヒコササノシマ

王ミコ○御諸別王ミコノシラノミコ○坂サカ

手池テノイケ○田部屯倉タケウベノクラ○

高穴穗宮タカアナノホノミヤ○山邊道ヤマノヘノミチ

上陵ウヘノミヤ

成務天皇

○稚足彦天皇○君

長○首渠○長○首

○造長○稻置○日

縱○日橫○影面○

背面○足仲彦按依例

字○狹城盾列陵

仲哀天皇

○兩道入姬命○足

仲彦天皇○大伴武

以紀武連○蘆髮蒲見別

王○氣長足姬尊○

角鹿○筭飯宮○德

勒津宮○穴門○豐

浦津○淳田門○海

鯽魚○崗縣主熊鱈

○山鹿岬○大倉主

○菟夫羅媛○菟田

伊賀彦○洞海○伊

親縣主祖五十迹手

○引島ヒケシマ○伊蘇志イソシ○

灘縣ナハシマ○檀日宮タンニツミヤ○膺ウケ

之空國ウツクニ○拷象新羅コウゾウシンラ

國クニ 拷象コウゾウ 發語ハツゴ ○穴門直踐立アナドノナオクテタテ

○蘇那曷叱智ソナカシチ○中ナカ

臣鳥賊津トシノイカツツラ 津連ツツラ ○大オホ

三輪大友主ミワノオホトモノミ 紀大友キノオホトモ ○

物部膽咋モノベノイハシムラシ 紀膽咋キノイハシムラシ ○小山コノヤマ

田邑タノハ○審神シムカミ○千繒チノシロ

高繒タカシロ○琴頭尾コトカミノビ○鴨カモ

別ワケ○荷持田村ノリモチノタムラ 紀訓注キノクニツ 荷持此ノリモチココ

登利トウリ ○羽白熊鷲ハシロクマノシ ○松マツ

峽宮セキミヤ○層増岐野ソウゾウキノ○

山門縣ヤマドノシマ○田油津媛タノアブリノヒメ

○夏羽ナツハ○火前國ヒノミチノクニ○

松浦縣マツラガタ○玉島河タマシマガハ○

裂田溝サツタノウツ○和魂ニギミタマ○荒アラ

魂ミタマ○依網吾彦男垂ヨサシノアヒコノヲカリ

見ミ○伊都縣イトノシマ 注ツ○深江村の子負

原ハラ○彼許カノコト 郡ノ 饗原ウケハラ ○和珥津ワニノ ○飼ケ

部ベ○波沙寐錦ハサシキム 注ツ○流助富

利智リチ ○波珍干岐微叱ハシノカンキミシ

己知 紀作微叱已知波珍于岐而珍訓登利美波珍新羅官號登

利其國 語也矣 ○高麗 ○百濟

内屯官家 注穴門山田邑紀無屯字是

○表筒男 ○中筒男

○底筒男 ○長野陵

應神天皇

○蚊田 ○譽田 注大靴和氣命

○麿坂 品陀和氣命去來別傳伊香沙和氣大神

王 ○忍熊王 ○住吉

○務古水門 ○菟路

○紀伊日高 ○小竹

宮 ○難波根子武振

熊 ○磐余 注物部多邊麻紀多邊麻連

○微叱許智 宮ト擊

○葛城襲津 云東國通鑑作未斯依

彦 ○斯摩宿祢 ○卓

淳國 ○千熊長彦 ○

荒田別 ○鹿我別 ○

久氏 ○比自炆 ○南

加羅 ○喙 ○安羅 ○

多羅 ○加羅 ○南蠻

○枕彌多禮ドムミタレ○多沙タサ

城サレ訓佐志韓語○七枝刀ナ、サヤカチ○

○七子鏡シツコノカミ○百濟王ハヤシノヒコキレ

肖古セウコ三國史記並作照東國通鑑記○

貴須キス東國通鑑作仇首紀紀須音主○子シム

枕流トハレ子訓勢志○阿花アクラ東國通鑑年韓語

作阿サ○辰斯シ○譽田天オムタノスメラ

皇ミコト○輕島カルシマ○豐明宮トヨアカリノミヤ

○仲姬ナカヒメ○厩坂道ウヤサカノミチ○

海人ウミナ○大濱宿祢オホハマノスネ○

紀角キノサカサネ宿祢紀角○羽田矢代ハノヤエノスネ

宿祢紀八代○蘇我石川スミヤカノイハヒ石紀

川宿祢カハノスネ○平羣木苑ヘイサマノキノエ紀木苑宿祢

○山守部ヤマモリ○枯野カヌノ○

韓人池カラヒトノイ○峴南ヒメノ○支

信紀侵紀○谷那タニナ嶺南下音讀○直

支シ三國史記作映支直韓音登今從腆○劔池ツルギノイ

○輕池カルノイ○鹿垣池カシノイ○

厩坂地ウヤサカノチ○弓月君ユキキリノキミ○

阿直岐アチキ○荒田別アラタノワケ○

巫別カミナキワケ○王仁ワニ○卓素タクソ

○吳服西素ニホヒ○仁番ニホヒ

○的户田イタノトラスネ 紀户田 ○國

標人○阿知使主○

都加使主○大隅宮

○兄媛○小豆島○

葉田葦守宮○御友

別○久爾卒○新齊

都媛○吳織○穴織

穴訓阿那与阿耶 通穴織則漢織 菟道稚

郎子○大鷦鷯皇子

○大山守皇子注物部

○惠我藻伏山岡陵

仁德天皇

○木兔○鷦鷯○大

鷦鷯天皇○高津宮

○磐之媛命○去来

穗别皇子○壬生部

○葛城部○堀江○

茨田堤○山背栗隅

縣○春米部○和珥

池○横野堤○猪甘

津○丹比邑○感玖

○石河○鈴鹿○豐

浦○砥田宿祢○賢

遺臣○八田皇女○

筒城宮○卑別皇子

○鳩鳥皇女○依網

阿弭古○百濟酒君

○百舌鳥野○鷹甘

部○雁生子注○曲島樂○

竹葉瀨○田道○荒

陵松林○大井川○

○倭吾子籠○氷室

○宿儺○河内石津

原○百舌鳥野陵○

菟餓野○猪名縣○

佐伯部○安藝淳田

○吉備中國

履中天皇

○住吉仲皇子○平

羣木免紀本免宿祢
免前紀作菟○物

部大前紀大前
宿祢○阿知

使主注○阿知
知直○埴生坂

○大坂オホサカ○飛鳥山下トビノカミノヤマノシタ

○當摩路トウマヂ○阿曇連アトモノミヤ

濱子ハマコ○石上振神宮イソノカミノシヅカノミヤ

○瑞齒別皇子ミツツバハワケノミコ○去イ

來穗別天皇キホトワケノミカド○倭蔣ヤマトノミヤ

代屯倉シノミヤケ○黑媛クロヒメ○

蘇我滿智スガノミチチ○物モノ

部伊苜弗イモフ紀伊苜弗大連

○葛城圓カサネノツルギ紀國大使生雄略卷

○市磯池イチノイソ○稚櫻シノサクラ

宮ミヤ○石上溝イソノカミノツツミ○飼部カヒベ

○草香幡クサノカガハタ校皇女シノミコ○

藏職クラツカリ○藏部クラノベ○大姬オホヒメ

郎姬イラツメ○高鶴郎姬タカツルノイラツメ○

百舌鳥耳原陵ヒツタツメノミミノハラノミヤ

反正天皇オモトコノミカド

○多遲花タヂハナ○多遲比タヂヒ

瑞齒別皇子ミツツバハワケノミコ注之

多治部タヂベ○刺領巾サシネノカサ注

加理カサ○村合屯倉ムラノカヘノミヤ○瑞ミツツバハ

齒別天皇ハツツバハノミカド○津野媛ツノノヒメ

○丹比紫籬宮タチヒムラサキ○百モ

古鳥耳原陵コトリミミハラ

允恭天皇

○雄朝津間稚子宿ヲサツマコノス

祢皇子ネノミ○大草香皇オホクサカノミ

子コ○遠飛鳥宮トホツマスカノミヤ○雄ヲ

朝津間稚子宿アサツマコノス禰天ニテン

皇ミコト○忍坂大ニサカオホ中ナカ姬ヒメ○

刑部エサカハ○味ミ檀カ丘カ

○誓神探湯シカミタタ○葛城カツラキ

玉田タマタ○夜通ヨトウ姬ヒメ○茅チ

淳宮ノミヤ○日根野ヒネノ○木キ

利輕皇子リケルノミ○輕部カサヒ

○輕大娘カサヒナ○

○長野原陵ノガハラ

安康天皇

○穴穗天皇アナホノミヤ○注物部

穴穗宮アナホノミヤ○中蒂ナカヒ姬ヒメ○

眉輪王メイリンノミコ○菅原スガハラ伏見フシミ

陵ミヤサキ

雄略天皇

○大舍人オホトネリ ○八釣白ヤツリシロ

彦皇子ヒコノミコ ○坂合黑彦サカヘノヒコ

皇子ミコ ○市邊押磐皇イチノヘノミコ

子コ ○御馬皇子ミマノミコ ○泊ツ

瀨セ ○朝倉宮アサクラノミヤ ○大泊オホツツ

瀨幼武天皇セワカノタケノミコ ○平群ヒラリノミ

真鳥マトリ 紀平紀平 ○大伴室屋オホトモノムロ

紀大紀大 伴連伴連 ○物部目モノベノメ 紀物紀物 ○幡ハタ

梭皇女ヒメミコ ○葛城韓媛カキノミコ

○童女君ワカメノキミ ○御馬瀨ミマノセ

○穴人部アナノヒト ○史戸シト ○

河上舍人部カミノリノヒト ○河上カミノリ

小野ノノ ○加須利君カスリノキミ ○

軍君イクサノキミ ○物部兵士モノベノヒツ ○

吉備下道前津屋キビノシモツミナノサキツツヤ 紀下紀下

○吉備田狹キビノタニ 紀吉備紀吉備 ○

吉備稚媛キビノワカメ ○吉備海キビノウミ

部赤尾アカヲ 紀海紀海 ○樟媛ツバキノヒメ ○

身狹青ミササグ 紀身狹紀身狹 ○檜隈ヒノノケ

博德ハカト 紀檜隈紀檜隈 ○膳斑鳩カシラノイモ

紀勝 臣 ○吉備小梨キビノオシコナシ 紀吉備臣

○難波赤目子ナニジキシテアカノコ 紀難波吉士

○凡河内香賜オホニカフチノアヘカタク 紀凡河内直

○胸方神ムナカタノカミ ○采女ウネメ

紀小弓キノヲユミノタネ 宿祢 ○蘇我ソノガノ

韓子カラコ 宿祢 ○大伴談オホトモカタル

連ツシヤ ○小鹿火ヲカヒノカヒ 紀小鹿大連 ○

對馬 ○匝羅 ○紀岡キノヲカ

前来自サキノクミ 紀来目連 ○紀大石キノオホイシ 紀大磐宿祢

○白鷺シロキ ○谷上濱タノカミノハマ

○川瀬舍人 ○吳人

貴信音読 ○木工コダクミ 鬪鷄

御田 ○播磨御井隈ハツマノミヅノカマ

○文石小麻呂 ○小

野大樹ノオキナホ 紀春野臣 ○漢織ヤマトリ

○縫衣兄媛弟媛 ○

磯齒津路 ○檜隈野

○大三輪神 ○漢衣

縫部 ○根使主 ○秦ハク

氏 ○秦造酒 ○大藏オホクラシ

宦 ○漢部 ○伴造 ○

贄土師部ニハノハレ○物部モノハハ菟ウ

代スナヘ紀菟代キウト○朝日郎アサヒノリ○

穴穗部アナホ○汶洲オニ○

久麻那利地クマナリ○白髮シラガ

皇子ミコ注○物部モノハハ○丹波與タニハ

佐真井原サマノハラ○豐受大トヨウケ

神カミ○度會郡山田タカヘノヤマタ○

文斤モノ○昆支王クニキ○末スエ

多タ○安致臣ヤシノミ○馬飼ウマカヒ

臣オミ○東漢掬トウカンク直ナホ○

星川王ホシカハノミコ○民部タミ○吉キ

備尾代ビオシ○史部シ○

一事主神ヒトノミヤカミ○来目水キミノミヅ

○池津媛イケツノヒメ○石河楯イシカハノタテ

○来目部キミノベ○大津馬オホツツノウマ

飼カヒ○菟田ウタ○鳥養部トリカヒベ

○猪名部イノベ真根マネ○丹ニ

以高ヒノタカ就馬原陵シマハラノミササキ

清寧天皇

○般石余イハシノミカ瓊栗シラガ○白髮シラガ

武廣國タケヒロクニ押稚オシワカ日本根ニホノネ

子コノスマラシコト天皇ハヤヒト○隼人ハヤヒト○白シラ

髮部ガバトネリ舍人トネリ○膳夫カシテ○

勅員ユゲヒ○伊與イヨク来目部クマノ

小楯コタテ○億計オケシ王シ○弘ホ

計王ケシ○赤石アカシ縮見シヅミ屯ツツ

倉首クラノオヒト○忍海部オシノミ細目ホソメ

紀忍海部造注○飯豐王○角刺宮○

山部小楯○針間國○志自牟○按飯

豐王紀作皇女又女王古事記○坂サカ

顯宗天皇

○来目稚子シメノワシゴ注○石葉別命

○美媛ハエヒメ○帳内トネリ○日ヒ

下部使主カノハシメ○吾田彦ウタヒコ

○丹波余社郡タニハ○田タ

疾来トク注○田○縮見山シヅミヤマ

石室イハヤ○赤石郡アカシ○丹タニ

波小子ハワラ○伊儼武斯イエンブシ

廬哥ロカ蕪泝ウソ比野ヒノ儼擬エンギ

寐逗シメツ愈凱ユケ麼儼ハバ弭企ミキ

於己オノ陀智タチ曾能ソノ泥播ニハ

宇世ウセ儒ニ○倭者ヤマト彼彼ハハ

茅原淺茅原弟日僕

是也○石上振之神

杉伐本截未於市邊

宮治天下天萬國萬

押磐尊御裔僕是也

○飯豐青皇女○忍

海飯豐青尊○近飛

鳥八釣宮○弘計天

皇○難波小野王當

屋野○山部連○狹

狹城山君韓侻注の山代前羽

○福草部○傍岳紀

磐塚丘陵

仁賢天皇

○八脚○島郎注大為島柳

○紀大磐紀生磐宿

帶山於保生訓於布以其相近而誤雄略紀作大磐是

城紀訓蓋○石上廣高

宮○億計天皇○春

日大娘ガノオホメ○石上部舍イシカミベトネ

人○的蚊鳥イツハネカミ紀的紀○穗ホ

瓮君ベニキミ○佐伯部サハキベ○佐サ

伯部仲子ハキベノカコ○佐伯造サハキベノミヤツク

○難波日鷹ナニハヒノトカ紀日鷹紀日鷹吉上吉上○

須流积スナリキ○奴流积ヌリキ○

小泊瀬稚鷯コボセノシロコ○

殖生坂本陵シノセノサカノホノリノミヤ

武烈天皇

○平羣真鳥ヘイグリンノマコト紀真鳥紀真鳥大臣大臣○

籙シ○大伴金村オホトモノカネムラ紀金村紀金村連連○

泊瀬列城ボセノタテ○小泊瀬コボセ

稚鷯シロコ天皇天皇○春日カスガノ

娘子メノコ○城像キヤクゾウ○水派ミヅハ

邑ムラ○嶋シマ起嶋起嶋○小泊瀬コボセ

舍人トネリ○斯我君シガキミ○傍カサ

丘磐坏丘陵ウツノイハハツキノサカノミヤサキ

繼體天皇

○男大迹王オホドノミコ○彦主ヒコノミ

人王ヒトノミコ注注○蘇我スヘ○三國君ミクニノキミ

三國真人の施子玉
○三尾

○三國坂中井○振

媛○高向○倭彦王

○丹波桑田郡○物

部麿鹿火紀麿鹿火大連○巨

勢男人紀男人大臣○河

内馬飼其八龍○樟葉

官○男大迹天皇注。彦太

○手白香皇女○

目子媛○稚子媛○

廣媛○麻績娘子○

關媛○倭媛○萬媛

廣媛注。久羅麻致岐彌○山背筒

城○哆唎國守穗積

押山紀穗積臣○上哆唎○

下哆唎於古之安留之韓語○婆沓

○牟婁○姐彌文貴

○洲利即爾○五經

博士段楊爾○伴跋

○已汶○帶沙訓。ホカカリ

大兄皇子○麻呂古

○匝布○汶慕羅○

漢高安茂アサノカウモ○灼莫加

未詳○斯那奴阿以多

未詳○弟國オトクニ○玉穗宮タマホシミヤ

○近江毛野アノミナケ○筑紫ツクシ

國造磐井クニミツツノイハ○筑紫君ツクシノキミ

葛子カツラコ○糟屋カスヤ○加羅カラ

多沙津タサツ○物部伊勢モノベノイセ

紀伊キイ○父根吉士老ウチネノキシノサキ

勢連セツレン○已能末多干コノマタカン

婆祢婁ハタハシ○已能末多干コノマタカン

例宜去コトヨシク 岐キ○水間城ミヅマノキ○膽瓊イロニ

殖エ○藍野陵アイノノミヤギ

安閑天皇

○勾大兄廣國押武マカリノオホニヒロクニオシタケ

金日天皇カナヒノスミヤミコ○勾金橋コノリノカナハシ

宮ミヤ○春日山田皇女カスガノヤマノヒメノミコ

○沙手媛サテノヒメ○香香有カガリ

媛ヒメ○宅媛ヤカヒメ○伊基屯イキノミヤ

倉クラ○小墾田屯倉コノリノタノミヤケ

田部タベ○櫻井屯倉サクラノミヤケ

難波屯倉ナニハノミヤケ○鑿丁クハツボロ

三島ミシマ○笠原使主カサハラノタケノオノミ紀笠原直キサハラノナオ

○小杵ヲキネ○上毛野カミツノ小チノ

熊クマ野ノ君ノ○紀上毛横ヨコ渟ツ○橘ダイダイ

花ハナ○多タ氷ヒ○倉クラ櫟ス○

勾コウ舍シヤ人ネリ部ノ○所勾コウ勒リキ員ヒ

部ベ○穗ホ波ハ○鎌カマ○豐トヨ

國クニ勝ミ碕サキ紀勝作勝通證○桑クハ

原ハラ○肝カト等ト○大オホ拔ヒキ志詳

○我ア鹿カ○火ヒ國クニ春ハル日ヒ

部ベ○播ハ磨リ越シ部ノ○牛ウシ

鹿カ○吉キチ備ビ後ノチ國クニ後ノチ城シロ

○多タ禰ネ○未ク履グ○葉ハ

稚ワカ○河カ音ネ○姁ウツ姁ウツ國クニ

膽イ殖シク○膽イ年ネン部ノ○阿ア

波ハ春ハル日ヒ部ノ○紀キ國クニ經ネ

湍ハヤシ○河カ邊ヘ○丹ニ波ハ蘇ソ

斯ス岐キ○近チカ江カ葦アシ浦ウラ○

尾オ張ハリ間マ敷キ○入イ鹿カ○

上カミ毛モウ野ノ綠キナンド野ノ○駿ス河カ

稚ワカ贄ニ○犬イヌ養カヒ部ノ○櫻オウ

井イノ田タ部ノ連ムラ○縣ノ犬イヌ養カヒ

連ムラ○難ナニ波ハ吉キチ士シ○媛ヒメ

嶋シマ松マツ原ハラ○舊フルイナ市チ高タカ屋ヤ

丘陵

宣化天皇

○檜隈高田皇子注

○武小廣國押盾

天皇○檜隈廬入野

○蘇我稻目紀稻目 宿祢

阿部火磨紀火麻呂臣火 一本作大者是

橘仲皇女○筑紫那

津○磐○狹手彦○

身狹桃花鳥坂上陵

欽明天皇

○天國排開廣庭天

皇○物部尾輿紀尾輿 大連

○石姬○己知部○

磯城島金刺宮○秦

伴造○祝津官○許

勢稻持勢稻 知許○雄媛姬

皇女○日景皇女○

堅鹽媛○小姊君○

糠子注 石姬○扶南音詭 外國

樂名 ○津守連 ○肅慎

○御名部崎 ○膳巴

提便紀膳 ○下部東城

子言下部東城志 ○德卒

汶休麻那德卒韓之爵訓未詳汶休麻那首說

○馬津城 ○德爾辛

○移那斯 ○麻都注。

移那斯佐麻那 ○漢城 ○平

壤 ○箭田珠勝大兄

皇子 ○明音讀 ○中臣

鎌子紀中 ○向原 ○難

波堀江 ○茅渟海 ○

溝邊直 ○樟勾官 ○

王辰爾 ○船史 ○餘

昌 ○渟中倉太玉敷

尊 ○德率東城子莫

子 ○奈率韓之 ○王柳

貴 ○固德馬丁安固德韓之

○僧曇惠 ○僧道

深 ○施德王道良施德亦將

○奈卒王有悛陀 ○

施德潘量豐 ○固德

丁有陀○施德三斤

○李德已麻次李德亦爵○

李德進奴○對德進

陀對德亦爵韓人名音讀○內臣○

函山城○惠○穗積

磐弓紀舞子臣○白猪屯倉

○阿倍臣○佐伯連

○播磨直○筑紫火

君○彌氏津○兒島

郡○葛城山田瑞子

○田令○韓人○大

身狹屯倉○高嶽人

○小身狹屯倉○海

部屯倉○更荒郡○

紀男麻呂紀男麻呂宿禰○河

邊瓊紀河邊○調伊企

儼紀調○智聰○泊瀨

柴籬官○東漢糠兒

紀東漢氏直○葛城難波紀葛城直

○膳傾子紀膳臣○東漢

坂上子麻呂紀坂上直○錦

部大石紀部首○相樂館

○坂田耳子郎君○

古市○檜隈坂合陵

○秦大津父○紀伊

郡深草里○賀茂神

敏達天皇

○淳中倉太玉敷天

皇○百濟大井宮○

物部弓削守屋紀守屋大連注大

○蘇我馬子紀馬子宿祢

○老女君○吉士金

子○吉士木蓮子○

吉士譯語彦○多多

羅○須奈羅○和陀

○發鬼○海部王○

絲井王○譯語田○

幸玉宮○豐御食炊

屋姬尊○日記部○

私部○大別王○小

黑吉士○菟道皇女

○綾糟○紀國造押

勝○吉備海部羽島

紀海部直 ○葦北國造子日

羅 ○廣深臣 ○佐伯

連 ○中臣勝海紀勝海連 ○

坂田耳子王 ○橘豐橘豐

日皇子 ○廣瀨 ○磯

長陵古ノミヤキ

用明天皇

○大兄皇子 ○橘豐オホエノミコ

日天皇 ○池邊雙槻ヒノスミ

宮 ○酢香手姫皇女ミヤ

○穴穗部間人皇女アナホホノミコ

○石寸名 ○三輪逆イハノシメ

○迹見赤檮トミミオヒトイナヒ 紀三輪君 見首紀跡

○磐余池上陵 ○磯イハレノイサカミノミヤ

長陵古ノミヤキ

崇峻天皇

○穴穗部皇子 ○佐アナホホノミコ

伯丹經手キナノミヤ 紀佐伯連注赤經紀佐伯連注赤經

○土師磐村ハシノイハハ 紀土師連 ○的ハシノイハハ

真噉マシノミ 紀的紀的 ○宅部皇子ヤカバノミコ

○泊瀨部ハツセ天皇スミミコト○倉クラ

梯官ハシノミヤ○小手子サテコ○近チカク

江滿エミツ 紀近江臣太子 ○穴人アナヒト

雁カウ 紀安人臣 ○巨勢比良夫コセヒラフ

○狹臣サオミ 太子傳曆作 ○

大伴オホトモ 嚙カミ 紀嚙連 ○葛城鳥カサキノ

奈良ナラ 紀鳥奈良臣 ○吉士磐キシイハ

金カネ ○倉梯岡陵クラハシノカミノミヤ

推古天皇

○額田部皇女ヌカタベノミコ ○豐トヨ

浦官ウラノミヤ ○豐御食炊屋トヨミケノヒヤ

姬メギ 天皇スメラメコト ○厩戸皇子ウマヤトリノミコ

○難波荒陵ナニハノハラカ ○惠慈ケニ

○惠聰ケニ 僧名音読 ○蘇我善ソミカノ

德トク 紀善德臣音読 ○法興寺ホウキョウジ ○

觀勒カンレク ○僧隆ソウリウ ○雲聰ウンソウ

以上音読 ○阿佐アサ ○境部臣サカイノミヤ

○穗積臣ホヅミノミヤ ○坂本糠サカモトノシロ

手テ 紀坂本臣 ○耳梨行宮ミミナシノミヤ ○

来目皇子クメノミコ ○當麻皇タギマノミ

子コ ○小墾田宮コウケンタノミヤ ○鞍クサ

作鳥ツクリトリ○元興寺ゲワンキョウジ○壬

生部フバ○小野妹子フノノオノイモ○野臣ノノ

○鞍作福利クラツクシ○高市タケチ

池イケ○藤原池フナハラノ○肩岡カハラノ

池イケ○菅原池スガハラノ○栗隈クリキマ

溝ウチテ○戸菊池トキキノ○依網ヨシ

池イケ○斐世清ヒセノ

音ネ○難波雄成ナニハノ○吉七ヨシチ

○中臣宮地烏麻呂ナカノミヤノ

紀宮キミヤ○大河内糠手オホカハノ○紀大

直ナホ○船王平フネノミチノ○紀船史キフネノ○名音ナノネ

額田部ヌカタノ比羅夫ヒラウノ○部連ベノ

○海石榴市ウミノ○注ツ○物部モノベ○鎌カマ

○難波德摩呂ナニハノ○吉七ヨシチ○紀難波キナニハ

○船龍フネノリウ○史シ○菟田野ウツノ

○掖上ウヂノ○祓傍ハラヒナ○和ワ

珥ミミ○犬上御田イヌノ○鋤クシ○

矢田部ヤタノ造ツク○注ツ○矢田部ヤタノ○志シ○佐サ

古コ○掖玖人ウヂクノ○神戶カヌヘ

郡コホリ○蒲生河カマフカハ○檜隈ヒノキマ

陵ミサキ○葛野秦寺カドノ○四シ

天王寺テンノウジ○音ネ○讀ヨミ○下シタ○慧慈齋ケイジサイ

○慧光クスシ○醫慧日クスシ

福因キ○吉士倉下クラ○

中臣國紀中○河邊禰カハ

受紀河邊臣シノ○物部依網ヨ乙オ

等紀依網連タノ○波多廣庭紀波多臣多

○近江脚身飯蓋紀脚身臣身

○平羣宇志紀平羣臣オホ○大

伴連トモ○大宅軍紀大宅臣宅○

鞍作部德積ラ○阿曇アト

連ムラ○慧觀ケ○蘇我蝦ス

夷シ○田村皇子タムラ○山ヤマ

背大兄皇子シノ○竹田タケダ

皇子ミ○竹田陵タケダ

舒明天皇

○押坂彥人大兄皇オシ

子コ○糠手姫皇子ヌカテ

境部摩理勢サカヒ○紀摩理勢臣勢

息長足日廣額天皇オキ

○高市天皇タカ市シ○田部連タ

寶皇女タカラ○蘇我法提ソ

郎女イラツメ○藥師慧日クスシ○

飛鳥岡岡本宮アスカノヲウノカモトノミヤ○義

慈アヒ○豐璋トヨシマ○有間温アヒマノイ

泉イ○高表仁オホホトモ○大伴オホトモ

馬養ウマカヒ紀大紀大○吉士雄麻キシヲマ

呂ロ○黑麻呂クロマロ○田中タナカ

宮ミヤ○上毛野形名カミツケノノキミカタナ紀上紀上毛野毛野

君ミコ○百濟川上クハラカハノホトリ○慧

隱カクレ○慧雲ケイウン○伊豫温イヨノイ

泉イハ○麿坂宮マヤサカノミヤ○高向タカムクノミ

玄理クワロ紀高向紀高向○清安キヨア○

滑谷岡スハガノノカ○押坂陵オシサカノミサキ○

皇極天皇

○茅渟王チヌノミコ○吉備姫キヒノヒメ

王ミコ○高向王タカムクノミコ○漢皇アヤノミ

子コ○天豐財重日足アメトヨタカライカシヒタラシ

姫ヒメ天皇スミラミコト○入鹿イルカ紀蘇紀蘇○

津守大海ツモリノムシオホアマ紀津紀津○國勝クニカツキミ

水鷄クヒナ紀國勝紀國勝○草壁真クサカハノキシマ

跡ト紀草壁紀草壁○坂本長兄サカモトノキシナカヒ

紀坂本紀坂本○翹岐アツミノ○安曇アツミノ

山背連ヤマシロノミヤ依例連加婆依例連加婆○南ミナ

淵河フカガハ○達率長福○

百濟大寺ヤマトオホテラ○小墾田コウケンタ

宮ミヤ○飛鳥板蓋新宮アスカノイタガキノニホミヤ

○茨田池マムタノ○吉備島キヒシマノ

命ミコト○土師猪手ハシノサノウヅノテ 紀土師安婆連猪手

○檀弓岡マユミノヲカ○古人大フルヒトオホ

兄皇子チミミコ○巨勢德太コホシノトコタ

古コ 紀德太古臣 ○中臣鎌足ノカトミナカマツリノラシ

紀或作鎌足連或作鎌足連 ○大伴長德オホトモノナガトコノタカ

孝德紀曰大伴長德連等馬飼即上与馬養同 ○中大ナカノオホ

兄皇子チミミコ○蘇我倉山スミヤカノクラヤマ

田石川麻呂タノシカイシカハマロ 紀作倉山田麻呂臣而下

文云倉山田石川麻呂 ○輕皇子カルノミコ

孝德天皇

○天萬豐日天皇アマヨロツトヨロノスミラミコト ○

阿部倉梯麻呂アベクラハシマロノオホオミ 紀作阿部内麻呂臣

而下文云倉梯麻呂大臣 ○間人皇女ハシヒトノヒメミコ

○小足媛オタラシヒメ ○乳娘チノイラフメ ○

三輪栗隈東人ミワノクリクマノキミ 紀栗隈君 ○

馬飼造ウマカヒノミヤツク ○倭漢比羅ヤマトノシマノアタヘヒラ

夫ウ 紀作倭漢直倭字或作東訓同 ○忌部イミベ

子麻呂コマロ 紀忌部首 ○吉備笠キヒカサ

垂ツル 紀笠臣 ○菟田朴室古ウタノロノフルシ

○高麗宮知コリアノミヤチ ○難波ナニハ

長柄豐碕宮ナガテトヨサキノミヤ ○村主スダリ

○子代離宮コシロノミヤ 注狹屋部邑 ○

鹽屋鮒魚シホヤノフシノイシ ○神社福カミコソノサキ

草クサ ○朝倉君アサクラノキミ ○梳子コシ

連ツラシ ○三河大伴直ミカハノオホトモノアタタヘ ○

蘆尾直アシオノアタタヘ ○子代入部コシロノイリ

○御名入部ミナノイリ ○蝦蟇カヘル

離宮トコノミヤ ○武庫行宮ムクノカリミヤ ○

小郡宮コノホリノミヤ ○倭漢荒田ヤマトノアラタ

井イ 以羅夫イロウ 紀倭漢直 ○淳足ツルシ

柵サシ ○柵戸サシド ○中臣押ナカトミノオシ

熊クマ 紀中 ○大阿食オホアケ 金春キヌハル

秋アキ 大阿食新羅將 ○磐舟柵イハフネノサシ ○

日向ヒナカ 紀蘇我臣日向 ○三輪邑ミツルノシヨ

夫ウ 紀三輪君 ○沙喙部沙食サヱノサケ

金多遂カナタス 沙喙部未詳沙食將通説云喙依天智紀置

彖ケ ○掃部角麻呂サウボウノツノマロ 紀掃部連

○味經宮アチノミヤ ○穴門國アナドノクニ

司草壁醜經シカサノカベノウツラシ 紀草壁連 ○吉キチ

士長丹シナカニ○吉士駒キシコマ○

高田根麻呂タカネマロ○紀高田○掃カニ

守小麻呂モリノマロ○紀掃○薩麻サツマ

行嶋ユケシマ○紀云薩麻之○門部カド

金カネ○河邊麻呂カハノマロ○紀河邊○

土師土德ハシノムラシ○紀百舌鳥土師○

大坂磯長陵オホサカノシナガノサキ

齊明天皇

○膳駒山イコマヤマ○住吉松スミノキマツ

嶽タケ○及喰彌武イキヨミタケ○柵サシ

養カヒ○津川ツガハ○膳葉積カヒノハヤシ

臣ミヤ○坂合部磐鋏サカヘビノイハスキ○紀坂合部

連ツグ○注ツグ○後飛鳥岡本ノチトビノオカノモト

宮ミヤ○田身嶺上兩槻タノミノミネノフタツギ

樹下キノト○兩槻宮フタツギノミヤ○天アメ

宮ミヤ○佐伯栲繩サヘキノムラシメ○紀佐伯

難波國勝ナニハノクニノカツ○紀難波○間マヒ

人ヒト御殿ミドノ○紀開○依網稚ヨサミシラシメ

子コ紀依紀依○阿曇頰垂アツミノノムラシメ○紀阿曇

○津ツ倭オホ倭ツツ○紀津○齒アキタノ田タ

蝦夷恩荷エゾノオンカ○淳代ムラシメ○

津輕ツガル○沙尼具那サナクナ紀或紀或

奈真那按奈真那按○蘇我赤兄ソガノアカエ紀赤紀赤

尼那通音ニナトウオン○蘇我赤兄ソガノアカエ紀赤紀赤

○平浦ヒラウラ○後方羊蹄シラベ

○坂合部石布サカヘベ前与磐前与磐

○津守吉祥ツモリヨシキ紀津守連紀津守連

○佐平鬼室福信サヘイキムツフクノブ

○餘豐ヨトヨ○科野シノ○大伯オホクノ

海ウミ○伊豫熟田津石イヨニキタツシ

湯行宮ユカミヤ○娜大津ナオホツ

磐瀨行宮イハセカミヤ○長津ナガツ

亂解ランゲ○朝倉社アサクラヤシロ○橘たちばな

廣庭宮ヒロニハミヤ○耽羅タムラ○阿ア

波伎ハキ○小市岡上陵コイチノカミノノミヤ

天智天皇

○佐伯子麻呂サキノウラシコマロ紀佐伯連紀佐伯連

葛城稚犬養網田カツラキノシノカニノムシノタ紀稚犬養連紀稚犬養連

○漢直アヤノアタヘ○阿曇比羅アツミノヒラ

夫ウツクシ紀比羅紀比羅○河邊百枝カハノエモ、チオミ

紀百枝紀百枝○阿倍引田比羅アハヒキタノヒラ

夫ウツクシ紀比羅紀比羅○物部熊モノベノクマ紀物部紀物部

部ベ○守大石モリノキシ紀守大石君紀守大石君○狹サ

井檳榔紀 ○朴市秦

田来津紀 ○岸秦

田麻呂紀 ○續守言

○上毛野紀 稚子野君

○間人大蓋紀 臣開

勢神前紀 譯語前 ○三神

輪根麻呂紀 ○大宅輪君

鎌柄紀 ○白村江大

佐平余自信 ○達率

木素貴子 ○谷那晉

首 ○憶禮福留 ○大オホ

海部皇子 ○氏上 ○

民部 ○家部 ○善光

○劉仁願注 ○郭仁軌

務注 驚 ○蘇我連注 臣按 脫子

○水城 ○佐平鬼

室集斯 ○荅本春初

○四比福夫 ○劉初

德高以上 ○境部石積音

○峽彌針間紀 峽弥吉

○姑如始 ○司始

馬法聰 ○大野 ○椽オホ

紀作 伊吉博德イキムラシノトモ 紀伊 吉連 ○

笠諸石カサノオシモロシ 紀笠 ○ 倭高安ヤマトノタカヤス

讚吉屋島タカキヤシマ ○ 金田カネタ

○ 天命開別天皇 ○

倭姬ヤマトヒメ ○ 遠智娘トウチノヌナ ○ 姪メヒ

娘 ○ 橘娘たちばなのヌナ ○ 常陸娘ヒタチノヌナ

○ 蒲生野 ○ 布勢耳フセノミミ

麻呂マロ 紀道 守臣 ○ 久麻貴クマキ ○

山科野ヤマシノ ○ 吉士小鮪キシコシロ

○ 斑鳩寺イカルガテラ ○ 河内鯨カワチノイサナ

紀河 内直 ○ 匱通野ヒトトビ ○ 山御ヤマミ

井井 ○ 蘇我赤兄スガノアカノミ 紀赤 兄臣 ○

巨勢人コセノヒト 紀人 臣 ○ 中臣金ナカノミナ

紀金 連 ○ 李守真 ○ 沙宅

紹明 ○ 蘇我果安スガノハツヤスノオシ 紀果 安臣

○ 紀大人キノウシノオホ 紀大 人臣 ○ 黄書キフミ

本實キフミ 紀黄書造 本實音読 ○ 比智島ヒチシマ

○ 山科陵ヤマシノノミササキ

天皇大友

○ 伊賀皇子 ○ 伊賀イガノ

采女宅子娘 ○ 荅休ウネノメヤカコノイラツシ

春初体上文 ○吉大尚

○許率母 ○阿曇稻

敷紀阿 ○村國男依紀村

○和珥部君手紀和珥

○身毛廣紀身 ○不破

道 ○大分惠尺紀大 ○

高坂王 ○三宅石床

宅紀三 ○韋那磐鋏紀韋 ○

書藥紀書 ○忍坂大麻

呂紀忍 ○穗積百足紀穗

○第百枝注五 ○物部

日向紀物 ○佐伯男紀佐

○樟磐手紀樟 ○栗隈

王 ○當摩廣島紀當 ○

大伴吹負紀大 ○稚狹

王 ○坂本財紀坂 ○壹

岐韓國紀壹 ○大津 ○

丹比 ○衛我河 ○来

目鹽籠紀来 ○山部王

○犬上川 ○羽田矢

國紀羽 ○大野果安紀大

○乃樂山 ○八口 ○

田邊タベノ小隅コノサキ○田中タナカ足タラシ

麻呂アサノ○倉歷クラカ○菊キク

萩野ハギノ○息長オキナガ横河ヨコガハ○

秦友ハシトモ足タリ○鳥籠トリノカゴ山ヤマ○

葦池アシイケ上ホトリ○犬養イヌカヒ五十ムラレ

君キミ○村屋ムラヤ○廬井イハノ

鯨クジラ井造ノ○三輪ミヅノ高市タケチ麻マ

呂ロ○置始オキノ菟ウ○

著陵ハシノ○社戸コソノ大口オホクチ○安ヤス

河上カノホトリ○栗太クリヒト○瀬田セタ

○土師ハシノ千島チシマ○安ヤス

○智尊チホノ○大令オホノ稚臣チノミ

○三尾城ミノ○谷鹽ヤノシホ

手直テノ○粟津市アソノ○物モノ

部麻呂ウラマロ○山前ヤマサキ

天武天皇

○蘇我安麻呂ソノ○賀臣カノミ

次田スキ生磐タノ○朴井雄ウツノ

君キミ○島宮シマノ○安八ヤハ

磨郡ワノ○湯沐令タウノ○多オホ

品治ホムヂ○黄書キツ大伴オホトモ

紀黃 ○逢志摩紀達 ○鷗

野皇女 ○草壁皇子

○忍壁皇子 ○縣犬

養大伴紀縣犬 ○佐伯

大目紀佐 ○大伴友國

紀稚櫻部臣五十瀬伊保世持統紀五百瀬 ○書根

麻呂紀書 ○書智德紀書

○山背小林紀山 ○山

背部小田 ○安斗智

德紀安 ○調淡海紀調 ○

津振川 ○菟田吾城

○大伴馬來田紀大 ○

土師馬手紀土 ○甘羅

村 ○大伴朴本大國

紀朴 ○美濃王 ○大野

○隱郡 ○橫河 ○伊

賀郡 ○中山 ○荊萩

野 ○積殖山口 ○高

市皇子 ○民大火紀民

○赤深德足紀赤 ○大

藏廣隅紀大 ○坂上國

麻呂紀坂 ○古市黑麻

呂リ○竹田タケノ大德オホトク○膽イ

香瓦カガノ安倍アベ○鹿カ

深フカ○大山オホヤマ○鈴鹿スズカ田原タハラ

股マ○三輪ミツル子首コノオビト○紀三輪君

高田タカタノ新家オホトニヒミ○川曲カハマ

坂本サカモト○三重ミエ郡朝明コホリノアサ

郡コホリ○迹太川トタカハ上ノミ○大オホ

津皇子ツノミコ○難波ナニハ三綱ミツツナ

紀難波キナニハ○駒田コメダ忍人ニノヒト勝勝カチカチ

麻呂マロ○小墾田コウケンタ猪手イノテ

○渥部ウツベ眠ネ枳キ注云眠本書作賦今抄下部兼

永本エホ及ヨリ新ニ日本ニ紀キ訂之ツケテ紀訓志キノシ伎キ○根ネ金身カネミ

連ツラシ○漆部ウツベ友背トモセ紀友作友秋記作友

○和ワ暫シブシ○安斗アイト阿加アカ

布フ斗連トシ○桑名クニノノ郡ノ○小コ

子部コノ鉏鉤シササ部連ノ○野ノ

上カミ○坂上サカノウヘ熊毛クマモ○紀坂上直

飛鳥寺アスカノテラ○三輪ミツル高市タカケチ

麻呂マロ○龍リウ田テン○大坂オホサカ○紀龍田

石手イハテ○平石野ヒラシノ○紀キ

阿閉麻呂紀紀 ○ 紀大

音紀紀 ○ 懼坂 ○ 玉倉

部邑 ○ 出雲紀出 狛

境部紀境 ○ 金網井

○ 葦池 ○ 粟津岡 ○

筱浪 ○ 飛鳥淨見原

宮 ○ 天淳中原瀛真

人天皇 ○ 龜石郡 ○

川原寺 ○ 久麻藝 ○

都羅宇麻 ○ 紀堅麻

呂紀紀臣詞 ○ 忍海大國

紀忍海造 ○ 大伴御行紀大 ○

佐伯廣足紀佐 ○ 間人

大蓋紀間 ○ 曾禰韓犬

紀曾禰連龍田野 ○ 廣

瀨河曲風神 ○ 大忌神 ○ 比

滿沙伎理梁通證云濠際

為梁所取魚也 ○ 麻績王 ○ 大

伴國麻呂紀大 ○ 三宅

入石紀三宅 ○ 久麻伎

與久麻藝同 ○ 飽波郡和名抄平

○ 屋恒王 ○ 物部麻呂紀物 ○ 山背百足紀山

○村田名倉紀村田史○血ナ

鹿島○河邊百枝紀河邊

○丹比麻呂紀丹比君○倉クラ

梯川上○十市皇女トホナノシメミコ

○忍海能麻呂紀忍海造○

臘辛鳥○越智○迹ト

驚淵上○迹見驛○

縵忍勝紀優造優字縵之誤○倭馬ヤマトノウマ

飼部連紀馬飼部造○上光カミミツ

欠カ紀上寸主按寸者村之省大姓氏錄上村主是也光欠紀訓加

禮幣レヒ○多禰鳥○藥師ヤクシ

寺○羅城○橘寺○

活田○白巫鳥○朝アサ

孀ツメ○向小殿ト訓ホ○内ウチ

安殿○外安殿○大オホ

極殿○川島皇子○

忍壁皇子○廣瀨王ヒロセノオホキミ

○竹田王○桑田王クハタノオホキミ

○三野王○上毛野カミノノウチ

三千野君○忌部首イムベノミムロ

紀天武九年忌部首小首賜姓日連小首今作者誤○

阿曇稻敷紀阿曇連○難波ナニハ

大形紀難 ○中臣大島オホトミ

紀中紀中 ○平群子首紀平群

首難波吉士今為忌部連難波連之類与前不同者以下往々有焉

以天武紀云改諸氏之族姓作ハ

色之姓以混天下万姓一曰真人

二曰朝臣三曰宿祢四曰忌寸五

日道師六曰臣七曰連八曰掃置也

○采女筑羅紀采女臣 ○當タギ

摩楯紀當 ○佐伯廣足サヘキノミ

紀佐伯連 ○小墾田麻呂紀小

臣 ○廣瀨野行宮 ○境部サカヒ

白茅鳩紀作 ○境部サカヒ

石積紀境 ○丹比島紀丹

人 ○伊高岐那 ○日ヒ

高皇女 ○鏡姬王 ○伊勢王 ○大伴安麻呂紀大

呂紀大 ○高向麻呂紀高

○都努牛飼紀都努臣 ○三

輪引田難波麻呂紀引田君

○桑原人足紀桑原連 ○縣下カクノ

犬養手綱紀犬 ○川原カハラ

加尼紀川 ○土師甥紀土師宿

祢 ○白猪寶然紀白猪史 ○猪使子首紀作猪使連 ○三

宅得許紀三 ○宮處王ミヤコノオホキミ

○難波王ナニハノオホキミ ○竹田王タケタノオホキミ

○彌努王ミヤオホキミ 上文美濃王三野王共同人 ○

石川イシカハナシハシナ 蟲名紀石川 ○東ヒガシ

山ヤマ ○佐味少麻呂サマシマロ 紀佐味朝

臣 ○巨勢コセノヲミ 栗持アヒナ 紀巨勢朝臣

○路迹見ミチノトミ 紀路真人 ○南海ミナミ

○佐伯廣足サヘキスツネヒロタリ 紀佐伯宿祢 ○

羆皮シクマノカ ○山羊皮ヤマヒノカ ○東ツカ

間温泉マノイ ○輕部カルバノアノミ 足瀨タリセ

紀輕部朝臣 ○高田新家タカタノオホトニホ 紀高田

○荒由尾麻呂アラユノマロ 紀荒田尾連

○伯瀨王ハセノオホキミ ○巨勢馬コセノウマ

飼カヒ 紀巨勢朝臣 ○大角オホツノ ○小コツノ

角ツノ ○奴ヌ 抛ハナシキ 抛紀及軍防今作抛推古紀作

抛字典抛音砲軍中以機發石曰砲車按作抛者蓋抛之省作

抛者抛之誤史不可可惜 ○白錦後苑

訓未 ○周芳總領所スハツスルヲサ ○

御窟殿ミロト 下文作御窟院訓同 ○國懸クニカケ

○秦石勝シノイモ 紀秦忌寸 ○大オホ

内陵ウチノミヤ

持統天皇

○鷺野讚良皇女○

遠智娘○礪杵道作

○行心○田中法麻

呂紀田中○青飯朝臣○霜

林○伊勢王○守苧

田紀等○藤原大島藤

原朝臣○栗田真人朝臣

○土師根麻呂紀土師

○大宅麻呂朝臣

藤原史朝臣○當麻

櫻井紀當麻○穗積山

守紀穗積○中臣麻呂

益須紀巨勢○大三輪

安麻呂紀大三輪○施基

皇子○佐味宿那麻

呂紀佐味○羽田齊朝臣

田朝臣齊訓年五開○伊余部馬飼

○薩弘恪○調老人

紀調忌子○大伴手拍紀大伴

○柏原廣山○生部

虎トウ部連紀生 ○武庫海 ○阿

提郡テ那者野 ○身野

○高脚海 ○石川タカシ蟲

名ナ紀石川朝臣 ○高田石成

紀高田首 ○高天原廣野紀高姬

天皇 ○物部麻呂紀麻呂朝

○中臣大島紀大島朝臣

○忌部色夫智紀忌部宿祢

○解部 ○腋上トキベ陂 ○

多治比島前作丹島者同人 ○大

伴部博麻魏聚國史作博麻呂 ○

筑紫史益按史例去加婆孫而史加婆孫也不

去者蓋按合者誤 ○釧 ○須波水

内神 ○長生池秋紀系於殺生之

所依之宜訓伊伎波奈都 ○新益京音讀

○高宮 ○三輪高市

麻呂紀三輪朝臣 ○當麻智

德紀當麻真人 ○紀弓張紀朝臣

○布勢色布智紀布勢朝臣

○鹿島櫛樟紀鹿島臣 ○菟

名足 ○衣縫王 ○上

百濟紀上村主 ○多武峯 ○

益須郡ヤスノ○臺八島ウチノヤシ紀ノ

忌ツカ○都賀山ノヤ○羽衝ハツキ

○土羅羅女ツララメ○更荒シラノ

郡ノ○刑部オサタノミヤ韓國ノカラ造ノ紀刑部ノ

○荒城郡アラキ○弟國部オトクニ

弟日オトヒ○良琳リョリン○文博フノイ

勢セ變ヒ○下諸田シモノ紀作下譯ノ諸諸田ノ

氏錄有上下日ノ○小野毛野コノノ

紀小野ノ○伊吉博德イキム紀伊ノ

○菟田吉隱ウタノヨナ○二槻フツキ

宮ミヤ○風速郡カザハヤ○物部モノヅ

藥クシリ○皮石郡カハシノ○壬生ニブ

諸石モロシ○皇孫珂瑠スメミマ○

當麻國見タギマノ紀當麻ノ○路ミチ

迹見トトミ紀路ノ○巨勢粟持コセノ

紀巨勢ノ○常饗盜賊トクニ○

大倭根子天之廣野オホヤマト

日女尊ヒメノ○大内山陵オホウチノ

Y. Yamada

伊能外記著

慶應二丙寅年五月

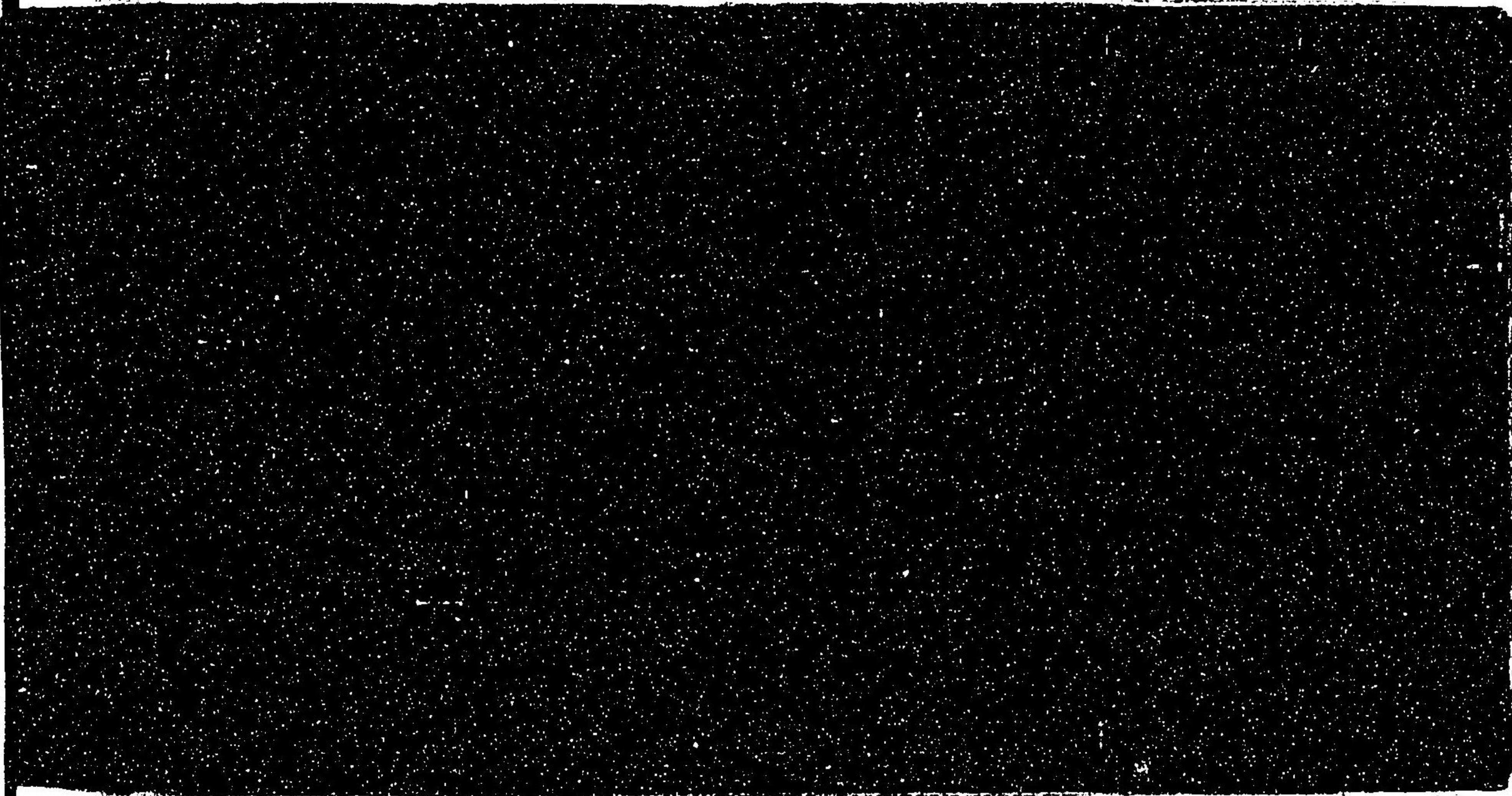
常州水戸 須原屋安治郎

下総佐原 正文堂利兵衛

江戸 須原屋伊八

同 和泉哇金右門

同 山城屋佐兵衛梓



特58
122
室五
册号架國

001071-001-0

特58-122

日本史類名称訓

伊能 穎則/著

M9

ACB-2723

